

へら鮎釣り用語集

あ

- 【浅ダナ】水面から1mくらいまでのタナ(水深)のこと。(シャロー)
- 【アタリ】へら鮎がエサを吸い込んだとき、ウキのトップの目盛りが鋭く水中に沈むこと。(バイト)
- 【アッパー】下アゴの外側にハリが掛かるスレ掛かり。
- 【アワズケ】へら鮎がエサを吸い込むときに水面に出る気泡。へら鮎が寄ったと判断する際のひとつになる。
- 【一荷(いっか)】上下両方のハリに魚が掛かってくること。ダブルやリャンコともいう。
- 【イトズレ】水中にある道糸やハリスが、魚の起こす水流や直接触れることによって不規則に動き、その動きがウキに伝わること。
- 【ウドン】わらびウドンのこと。水に溶かし火にかけて作ったモチ状のものを小さく切ってくわせエサとして使う。
- 【ウワズリ】エサのバラけ過ぎなどが原因で、釣っている水深よりも魚のタナが上がってしまうこと。
- 【上バリトントン】底釣りの場合、エサを付けていない上バリが、ちょうど底に着いている状態。底釣りの基準になるタナのこと。
- 【エサ合わせ】主に麩エサの使用時に、そのときの魚の食い気の状態に合うようにエサの硬さやネバリ具合を調節すること。
- 【エサ打ち】ハリにエサを付けて、仕掛けを水中に投入すること。
- 【エサ落ち目盛り】エサを付けずにオモリとハリだけの状態でウキが立ったとき、水面に出ているウキのトップの目盛りのこと。
- 【エサ持ち】水中でエサがハリに付いている時間。
- 【オダ】水面に出ている立ち木のことの総称。また、水中に隠れているオダのことを「隠れオダ」という。(ストラクチャー、インビジブル)
- 【落ち込み】ウキが立ち、エサが沈んでウキがなじみきるまでのこと。(フォーリング)
- 【オデコ】釣果が得られなかったこと。
- 【落とし込み】ウキが立つ位置付近に正確にエサを落とすこと。

か

- 【カケアガリ】水底(ボトム)が傾斜しているところ。(ブレイク)
- 【活性】エサの食べ具合など、魚の動きの良し悪しを表す言葉。
- 【カラツン】アタリが出ているのにアワセても釣れないこと。「ツン」と入って空振りする様子からカラツンといわれる。(ショートバイト)
- 【旧ベラ】管理釣り場などで、放流されてから1年以上経ち、エサ慣れしているへら鮎のこと。
- 【食い上げアタリ】魚がエサをくわえて持ち上げるため、エサ落ち目盛りよりも下の目盛りが出るアタリ。
- 【食い渋り】魚は寄るが、なかなかエサを食べない状態のこと。(タフコンディション)
- 【くわせエサ】セット釣りで、上バリのバラケエサで寄せたへら鮎に食わせるための下バリに付けるエサのこと。
- 【経時変化】作ったエサが時間の経過とともにネバリが出るなど、エサの状態が変化すること。

さ

- 【誘い】食い渋った魚の興味を引くため、竿を少し動かしてエサを動かすこと。

- 【サワリ】魚がエサの周りに寄った際、魚の起こす水流でエサなどが動き、その動きがウキに伝わること。「前ぶれ」ともいう。
- 【ジャミ】クチボソやオイカワなど、へら鮎以外の小型の魚のこと。また、へら鮎以外で手のひらの大きさを超える大きな魚は外道という。
- 【新べら】養魚場から釣り場に放流されたばかりのへら鮎のこと。
- 【スイベル】ジョイントのひとつ。ヨリモドシのこと。
- 【巣離れ】野釣り用語で、冬に深場でじっとしていたへら鮎が春になって水温が上昇しはじめると、浅場へ行動範囲を広げること。
- 【スレ】ハリが魚の口以外の場所に掛かってしまうこと。

た

- 【タチ】水深のこと。
- 【タッチ】エサのバラケ具合など感触を表現する言葉。
- 【タナ】魚を釣る層のこと。(レンジ)
- 【ダンゴ】主に麩エサ(バラケエサ)を練って丸めた、寄せることと食わせることの両方の役目をはたすエサのこと。
- 【宙釣り】エサを底に付けずに釣る釣り方の総称。
- 【チョーチン釣り】竿いっぱいタナを釣る釣り方のこと。
- 【手返し】エサが付いているか、いないかに関わらず、次のエサを投入すること。
- 【トメ】エサを打った際、ウキがなじむ途中でフツとなじみが止まること。

な

- 【なじみ】ウキの目盛りがエサ落ち目盛りよりも沈んでいくこと。
- 【根掛かり】ハリが水中の障害物などに引っ掛かってしまうこと。
- 【乗っ込み】魚が産卵のため浅い場所へ移動して、産卵するまでの行動。
- 【野釣り場】自然の湖沼や河川、堰(せき)などの釣り場のこと。

は

- 【バラケ】水中でエサが溶けていく様子。
- 【バラケエサ】魚を寄せることを目的としたエサのこと。
- 【バレ】釣れた魚からハリが外れてしまうこと。
- 【半ベラ】合いベラともいい、へら鮎と判別しにくいマブナのこと。
- 【開き】水中のエサが水を吸って膨らみバラけること。
- 【深場・深ダナ】底近くのタナのこと。
- 【ブレンド】複数のエサを配合すること。
- 【ヘチ】水際、端のこと。
- 【ボソ】エサのタッチ(手触り感)のことで、水分の少なめなボソボソした感じのこと。

ま

- 【もじり】魚が水面上に跳ねる様子。もじりの場所が魚の集っている位置を判断する要素になる。

ら

- 【ラフ付け】あまり表面を整えずに、ハリ付けする圧力を甘くしたエサの付け方。バラケ方が速い。

わ

- 【割れ落ち】エサが水中でじわじわ溶けず、一気に割れ落ちてしまうこと。